

シンポジウム 1 「会長特別企画」

8:35 ~ 10:05

(第1会場)

「1型糖尿病の多様性～病態に着目して～」

座長：浦上 達彦（浦上小児内分泌・糖尿病クリニック）

島田 朗（埼玉医科大学 内分泌・糖尿病内科）

1. 劇症1型糖尿病の病態 ―症例報告の東西比較から
今川 彰久（大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ）
2. Ketosis-prone type 2 diabetes の臨床像とその病態
及川 洋一（埼玉医科大学 内分泌・糖尿病内科）
3. 緩徐進行1型糖尿病
川崎 英二（新古賀病院 糖尿病・甲状腺・内分泌センター）
4. 日本人小児・思春期1型糖尿病診療のリアルワールド
菊池 透（小児インスリン治療研究会／埼玉医科大学 小児科）

シンポジウム2 「私たちのダイバーシティ」

10:10 ~ 11:40

(第1会場)

「私たちのダイバーシティ～1型糖尿病であり医療者である私たちが伝えたいこと～」

座長：佐藤 麻子（東京女子医科大学 臨床検査科）

高橋 倫子（北里大学医学部 生理学）

1. 私たちのダイバーシティ～1型糖尿病であり医療者である私たちが伝えたいこと～ 医師として
小谷 紀子（国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科）
2. 看護師として
土田由紀子（東京女子医科大学病院 看護部）
3. 患者と共にあゆむ薬物療法支援とは
平山 大徹（H.E.C サイエンスクリニック 薬局）

シンポジウム3 「若手研究啓発」

13:50 ～ 15:20

(第1会場)

「糖尿病における膵島研究の最前線」

座長：福井 智康（昭和大学医学部 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科部門）
及川 洋一（埼玉医科大学 内分泌・糖尿病内科）

1. 膵島生物学 UPDATE - Diabetes Cure に向けて -
宮塚 健（北里大学医学部 内分泌代謝内科学）
2. 最も正確なグルカゴン測定系の糖尿病病態診断への有用性
北村 忠弘（群馬大学生体調節研究所 代謝シグナル解析分野）
3. ウイルス性糖尿病に関する研究
三根敬一郎（佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科）

シンポジウム4 「災害医療関連」

15:25 ～ 16:55

(第1会場)

「今こそ考える、1型糖尿病における災害対策」

座長：薄井 勲（獨協医科大学 内科学(内分泌代謝)）
辻野 元祥（東京都立多摩総合医療センター 内分泌代謝内科）

1. 東日本大震災をふりかえる ～1型糖尿病患者に私たちができたこと
藤原 幾磨（仙台市立病院 小児科）
2. 1型糖尿病患者に対する地域での備え
宮川 高一（医療法人社団ユスタヴィア 多摩センタークリニックみらい）
3. どんな時でも糖尿病を持つ人を守る！ ～1型糖尿病を災害弱者にしない～
八幡 和明（長岡中央総合病院 糖尿病センター）